## 9-2 九州の地震活動(1999年11月~2000年4月) Seismic Activity in Kyushu (November 1999 - April 2000)

九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター Institute of Seismology and Volcanology Faculty of Sciences, Kyushu University

第1図に 1999 年 11 月 ~ 2000 年 4 月の震源分布,第2 図に同期間の月別震央分布と主な地震の発 震機構を示す。また,第3 図には深さ 30km 以浅の地震の分布を示す。この期間の主な地震活動は 以下の通りである。

1.九州中部の地震活動

10月31日に,活断層である日奈久断層と布田川断層が交わる付近において,M4.3 が発生した。 その後11月10日にほぼ同じ場所でM4.5の地震が発生した。そこで,震源域直上と震央域をとり 囲むように1点の無線テレメータによる観測点(KSRQ),3点の現地収録型のデータロガーによる観 測点(MCCQ,MFTQ,JNYQ)を設置した。第4図の左上図に観測点配置図を示す。これらの観測点 は,6月16日現在まで稼働中である。尚,KMPは九州大学地震火山観測研究センターの定常観測 点,JIU は気象庁の定常観測点,JMFN は気象庁の臨時観測点である。

第4図左下図に,1999年10月31日から2000年1月31日までの KSRQ 観測点(1999年11月12日設置)における日別地震発生回数と震源決定されら地震の日別発生回数を示す。

第4図右上に 1999 年 10 月 31 日から 2000 年 1 月 31 日時空間分布図と M4 以上の地震のメカニ ズムを示す。いずれも南北に張力を持つメカニズムである。

第4図右下に,震源域直上に観測点が設置されてから決められた精度の良い震源分布図(1999年 11月11日~2000年1月31日)と主な地震のメカニズムを示す。正断層型,横ずれ断層型,逆断層型 と様々なメカニズムを持つ地震が発生していることが分かる。

尚,これらの震源域の南の日奈久断層に沿う場所で2000年6月8日に M5.3(Mjma4.8)の地震が発生し震度5弱を記録している。

尚,本報告は気象庁・鹿児島大学・高知大学・東京大学・九州大学のデータをもとに作成された。

391







第2図-(1) 月別震央分布と発震機構(1999年11月)

Fig.2-(1) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms.(November, 1999)



第2図-(2) 月別震央分布と発震機構(1999年12月)

Fig.2-(2) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms.(December,1999)



第2図-(3) 月別震央分布と発震機構(2000年1月)

Fig.2-(3) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms.(January,2000)



第2図-(4) 月別震央分布と発震機構(2000年2月)

Fig.2-(4) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms.(February,2000)



第2図-(5) 月別震央分布と発震機構(2000年3月)

Fig.2-(5) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms.(March,2000)



第2図-(6) 月別震央分布と発震機構(2000年4月)

Fig.2-(6) Monthly distribution of epicenters and focal mechanisms.(April,2000)



第3図 深さ30km以浅の地震分布と活断層分布(活断層研究会,1980)

Fig.3 Epicentral distribution of shallow earthquakes (depth 30km). Distribution of active faults are also shown (The Research Group for Active Faults, 1980).



精度の良い震源分布(1999/11/11~2000/1/31)

第4図 熊本県中部の地震活動

